

梅雨の季節に備えましょう

6月は土砂災害防止月間、6月1日～7日は、がけ崩れ防災週間です

☎総務課(☎826-1111 内線2292)

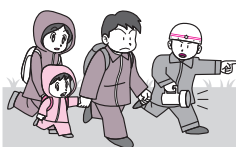
風水害

気象情報の確実性の向上と情報量の大幅な増加により、台風や大雨などの到来時間、規模などの情報を早期に知ることができるようになりました。

しかし、異常気象などにより予測以上の被害を受けることがあります。日頃から自分の家の環境を確認し、水害に注意しましょう。

●日頃から注意する点

- 周囲に危険な河川はないか
- 家の地盤が道路より低くないか
- 周りの道路側溝がつまっていないか
- テレビやラジオなどの気象情報



●早めの避難を心がけてください

台風や集中豪雨による浸水は一気に押し寄せてきます。避難の遅れは生命の危険に直結します。避難勧告・

避難指示が出たときはもちろんですが、それらが出ていなくても付近で危険を感じた際には、早めに避難してください。

- **避難勧告**…災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に発令
- **避難指示**…状況が悪化し、災害による人的被害の危険性が非常に高まった場合に発令

安心・安全情報メール

災害などの情報を登録した携帯電話やパソコンにメールで配信します。受信を希望される方は、市ホームページまたは右の二次元バーコードから登録してください。



洪水時の避難所 ※1か所の避難所に集中しないため区域を設けています。対象区域外の方も避難所に避難できます。

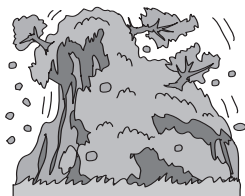
避難所	所在地	電話	避難対象区域
霞ヶ浦環境科学センター	沖宿町1853	828-0960	沖宿町、田村町、手野町
上大津東小学校	沖宿町2489	828-1018	
湖畔荘	手野町1892-1	828-0881	
上大津西小学校	手野町3651	828-1016	木田余、真鍋新町
ワークヒル土浦	木田余東台四丁目1-1	826-2622	城北町、真鍋一丁目
二中地区公民館	木田余1675	824-3588	
土浦第二中学校	東真鍋町21-7	821-0808	港町一～三丁目、有明町、桜町一・二丁目、大和町
真鍋小学校	真鍋四丁目3-1	821-0752	桜町三・四丁目、大町、千束町、生田町、大手町
土浦第一高等学校	真鍋四丁目4-2	822-0137	川口一・二丁目、湖北一・二丁目、東崎町
土浦工業高等学校	真鍋六丁目11-20	821-1953	中央一・二丁目、文京町
都和小学校	並木五丁目4826-1	831-1510	殿里、真鍋二・三丁目、西真鍋町、東真鍋町、虫掛、常名
都和公民館	並木五丁目4824-1	832-1667	
都和南小学校	常名3090	823-8251	立田町、田中一～三丁目、田中町
土浦第三高等学校	大岩田1599	821-1605	大岩田
土浦日本大学高等学校	小松ヶ丘町4-46	822-3382	蓮河原町、蓮河原新町、滝田一・二丁目、小松一・二丁目、富士崎一・二丁目
土浦市保健センター	下高津二丁目7-27	826-3471	小松一・二丁目、富士崎一・二丁目
四中地区公民館	国分町11-5	824-9330	
土浦第四中学校	中高津三丁目10-4	821-0297	下高津一～四丁目、上高津
下高津小学校	下高津四丁目2-9	821-1100	穴塚、矢作、飯田、佐野子、粕毛
藤沢小学校	藤沢3057	862-3505	藤沢、藤沢新田、上坂田、下坂田、高岡、田土部
新治地区公民館	藤沢982	862-2673	

土砂災害

土砂災害は、長雨・大雨・豪雨により発生します。予測が難しいため、被害が大きいのも特徴です。しかし、前兆もあります。下記のような現象が見られた際には、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所へ避難してください。

●土砂災害の前兆現象

- 小石がパラパラと落ちてくる
- がけ・地面に亀裂ができる
- がけから水が湧き出る
- 湧き水が止まる・濁る
- 井戸や沢の水が濁る
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- 地鳴りが聞こえる
- 地面が振動する
- 樹木が傾く
- 降雨が続くのに川の水位が下がる



非常用持出袋 チェックリスト



- 飲料水
- 食品(乾パン、缶詰、チョコレートなど)
- 懐中電灯、携帯ラジオ
- 予備の電池
- 現金、通帳、はんこ
- ろうそく
- ライター、マッチ
- 軍手・手袋
- ナイフ、缶切り
- ロープ
- ビニール袋
- 衣類(下着、靴下、上着、雨具)
- ヘルメット・防災頭巾
- 救急セット

一人で一日に必要な水の量は

3リットル

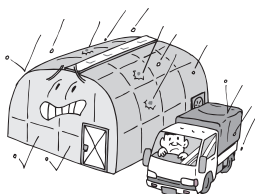


竜巻

竜巻は、台風、寒冷前線、低気圧などに伴って突発的に発生する激しい渦巻です。非常にスピードが速く、短時間で大きな被害をもたらします。

●竜巻の前兆現象

- 急に暗くなる
- ひょうが降ってくる
- 冷たい風を感じる
- 草むらや土の匂いがする
- 雷鳴が聞こえる



●竜巻が間近に迫ったら

【屋内にいる場合】

- 建物の1階の部屋に移動する
- 雨戸やシャッターを閉めて窓から離れる
- 丈夫な机の下に入り、頭を守る

【屋外にいる場合】

- 頑丈な建物の中に避難する
- 電柱や大きな木から離れる
- 姿勢を低くし、飛来物から頭を守る



★ 避難する際の注意点 ★

■ 避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときには、市や消防団などから非難の呼びかけがありますので、速やかに避難してください。

■ 避難する前に

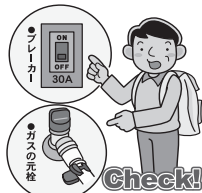
避難する前に電気、ガスなどの火元を確認しましょう。

■ 車での避難は控えて

車での避難は、緊急車両の妨げになります。また、渋滞をまねき、浸水すると動けなくなりますので、特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

■ 非常持ち出し袋の準備を

荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。両手が使えるようにリュックに入れておきましょう。



■ 2人以上での避難、履物は運動靴で

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。裸足、長靴は避け、ひもで締められる運動靴を使用してください。



■ 安全な避難路の確認

避難所までの経路をあらかじめ決めておきましょう。

■ 一人暮らしのお年寄りなどに気配りを

自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、普段からの気配りが必要です。

■ 高い道路を通りましょう

避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合には、溝や水路に注意しましょう。また、がけ地などでは土砂災害に注意しましょう。